

第 6 回 関東ラージボール卓球大会 要項

- (1) 期 日 平成 2 5 年 9 月 2 0 日 (金) ～ 2 2 日 (日)
- (2) 会 場 栃木県鹿沼市総合体育館 (フォレストアリーナ)
〒 3 2 2 - 0 0 1 7 鹿沼市下石川 6 9 4 - 1 / TEL 0 2 8 9 (7 2) 1 3 0 0
(JR 日光線「鹿沼駅」から車で 1 5 分 / 東武線「新鹿沼駅」から車で 1 5 分 / 東北自動車道「鹿沼 I C」から 5 km)
- (3) 主 催 関東卓球連盟
- (4) 主 管 栃木県卓球連盟
- (5) 後 援 鹿沼市 / 鹿沼市教育委員会 / 鹿沼市体育協会
- (6) 協 賛 日本卓球株式会社 / 株式会社タマス / ヤマト卓球株式会社
- (7) 競技種目

〈シングルス〉各種目 A / B クラス (⑧ ・ ⑯ のみ C クラス) に分けて実施する。

- | | | | |
|-----------------|-------------|-----------------|-------------|
| ① 男子シングルス一般 | (4 9 歳以下) | ⑨ 女子シングルス一般 | (4 9 歳以下) |
| ② 男子シングルス 5 0 | (5 0 歳以上) | ⑩ 女子シングルス 5 0 | (5 0 歳以上) |
| ③ 男子シングルス 6 0 | (6 0 歳以上) | ⑪ 女子シングルス 6 0 | (6 0 歳以上) |
| ④ 男子シングルス 6 5 | (6 5 歳以上) | ⑫ 女子シングルス 6 5 | (6 5 歳以上) |
| ⑤ 男子シングルス 7 0 | (7 0 歳以上) | ⑬ 女子シングルス 7 0 | (7 0 歳以上) |
| ⑥ 男子シングルス 7 5 | (7 5 歳以上) | ⑭ 女子シングルス 7 5 | (7 5 歳以上) |
| ⑦ 男子シングルス 8 0 | (8 0 歳以上) | ⑮ 女子シングルス 8 0 | (8 0 歳以上) |
| ⑧ 男子シングルス C クラス | (6 0 歳以上) | ⑯ 女子シングルス C クラス | (6 0 歳以上) |

〈ダブルス〉各種目 2 名の合計とし、A / B クラス (⑧ ・ ⑯ のみ C クラス) に分けて実施する。

- | | | | |
|----------------|------------------|----------------|------------------|
| ① 男子ダブルス一般 | (合計 9 9 歳以下) | ⑨ 女子ダブルス一般 | (合計 9 9 歳以下) |
| ② 男子ダブルス 1 0 0 | (合計 1 0 0 歳以上) | ⑩ 女子ダブルス 1 0 0 | (合計 1 0 0 歳以上) |
| ③ 男子ダブルス 1 2 0 | (合計 1 2 0 歳以上) | ⑪ 女子ダブルス 1 2 0 | (合計 1 2 0 歳以上) |
| ④ 男子ダブルス 1 3 0 | (合計 1 3 0 歳以上) | ⑫ 女子ダブルス 1 3 0 | (合計 1 3 0 歳以上) |
| ⑤ 男子ダブルス 1 4 0 | (合計 1 4 0 歳以上) | ⑬ 女子ダブルス 1 4 0 | (合計 1 4 0 歳以上) |
| ⑥ 男子ダブルス 1 5 0 | (合計 1 5 0 歳以上) | ⑭ 女子ダブルス 1 5 0 | (合計 1 5 0 歳以上) |
| ⑦ 男子ダブルス 1 6 0 | (合計 1 6 0 歳以上) | ⑮ 女子ダブルス 1 6 0 | (合計 1 6 0 歳以上) |
| ⑧ 男子ダブルス C クラス | (6 0 歳以上で組むこと) | ⑯ 女子ダブルス C クラス | (6 0 歳以上で組むこと) |

〈混合ダブルス〉各種目 2 名の合計とし、A / B クラス (⑧ のみ C クラス) に分けて実施する。

- | | | | |
|----------------|------------------|----------------|------------------|
| ① 混合ダブルス一般 | (合計 9 9 歳以下) | ⑤ 混合ダブルス 1 4 0 | (合計 1 4 0 歳以上) |
| ② 混合ダブルス 1 0 0 | (合計 1 0 0 歳以上) | ⑥ 混合ダブルス 1 5 0 | (合計 1 5 0 歳以上) |
| ③ 混合ダブルス 1 2 0 | (合計 1 2 0 歳以上) | ⑦ 混合ダブルス 1 6 0 | (合計 1 6 0 歳以上) |
| ④ 混合ダブルス 1 3 0 | (合計 1 3 0 歳以上) | ⑧ 混合ダブルス C クラス | (6 0 歳以上で組むこと) |

※ 参加者が 4 名 (組) に満たない種目は、他種目と合同で行うことがある。

(8) 試合方法

- ① 各種目とも 1 1 本 3 ゲームマッチとする。
- ② 第 1 ステージとして 3 名 (組) 程度によるリーグ戦を行い、第 2 ステージは第 1 ステージの順位によるトーナメントを行う。但し、参加数が 1 8 名 (組) 以下の種目についてはクラス分けをしない。

(9) 競技日程

9月20日(金) 受付 8時～ / 練習 ～9時50分 / 開会式 10時～ / 試合開始 11時(予定)

21日(土) 試合開始 9時 / 試合終了 18時(予定)

22日(日) 試合開始 9時 / 試合終了 16時(予定)

※予定は参加申込数により変更することがあります。10時までに受付を済ませてください。

(10) 競技ルール

① 現行のラージボール卓球ルールによる。タイムアウト制は適用しません。

② 表ソフトラバーのみが使用できる。

また、ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼ることはできない。

③ ゼッケンは平成25年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。

④ 審判は第1ステージ・第2ステージ(トーナメント)ともに選手の相互審判および敗者審判で行う。

(11) 参加資格

① 平成25年度東京都卓球連盟A会員であること。

※B会員は日卓協登録をした隣接県より申込みしてください。

② 年齢は、平成26年4月1日迄に当該年齢に達している者であること。

(イ) 50(50歳以上)は昭和39年4月1日以前に生まれた者。

(ロ) 60(60歳以上)は昭和29年4月1日以前に生まれた者。

(ハ) 65(65歳以上)は昭和24年4月1日以前に生まれた者。

(ニ) 70(70歳以上)は昭和19年4月1日以前に生まれた者。

(ホ) 75(75歳以上)は昭和14年4月1日以前に生まれた者。

(ヘ) 80(80歳以上)は昭和9年4月1日以前に生まれた者。

③ 各選手は、シングルス、ダブルス、混合ダブルスの各1種目 合計3種目まで出場できる。

④ A/B/Cクラス分けについて

Aクラス：硬式、ラージボールを問わず、県大会やオープン大会等で入賞経験のある者。

本大会Bクラス優勝者(ダブルス種目含む)および参加希望者。

Bクラス：Aクラス以外の者。

Cクラス：60歳以上でラージボールを始めたばかりの者。

※上記クラス分けは、申込時において選手の自己申告とする。

⑤ダブルスのパートナーは同一都道府県の者に限る。

(12) 参加料 シングルス1名 2,000円 / ダブルス1組 3,000円

(13) 受付期間 **平成25年6月6日(木) ～ 12日(水) 必着**

(14) 申込方法 申込書に参加料を添えて、現金書留にて東京都卓球連盟宛申し込むこと。

〒160-0023 新宿区西新宿7-18-5 中央第7西新宿ビル402

東京都卓球連盟 TEL 03-5389-2965

(14) その他 ① 一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。

② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ずその旨本連盟宛連絡すること。

③ 病気や事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。

④ 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。

◆競技上の諸注意

1. ルールについて

▽競技方法

- ①各種目は、1 マッチ 3 ゲームで行います。マッチの勝敗は、2 ゲームを先取した者(組)を勝ちとします。
- ②1 ゲームの勝敗は、1 1 ポイント先取した者(組)を勝ちとします。
- ③両競技者(組)のポイントスコアが 1 0 : 1 0 に達したときは、以降 2 ポイントリードした競技者(組)の勝ちとします。
但し、両競技者(組)のポイントスコアが 1 2 : 1 2 になった場合、先に 1 3 ポイント先取した競技者(組)の勝ちとします。
- ④各種目共、予選リーグ結果により、予選 1・2 位の者(組)は上位トーナメントに、予選 3 位以下の者(組)は下位トーナメントに分かれて行います。但し、大会要項に記載した数の参加数に達しない種目は、下位トーナメントは実施しない。
- ⑤リーグ戦の順位計算は、「日本卓球ルール」のリーグ戦規定による。

▽サービス

- ①サーバーは、フリーハンドの手のひらを平らに開き、その上につかむことなく自由に転がる状態でボールをのせ静止させます。この状態からサービスは開始されます。
- ②サーバーは、ボールに回転を与えることなく、ボールがフリーハンドの手のひらから離れた後、打球される前になにものにも触れずに落下するように、ボールをほぼ垂直に投げ上げなければなりません。投げ上げる高さは任意とするが、落下するのを確認出来る高さとする。
- ③サーバーは、ボールが落下する途中を打つものとし、そのボールが最初に自領コートに触れ、次にネットアセンブリを超えるか迂回した後、レシーバーのコートに直接触れるように打球します。ダブルス競技では、そのボールが最初にサーバーのライトハーフコートに触れ、続いてレシーバーのライトハーフコートに触れなければなりません。
- ④サービスが開始されてから、ボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレーイングサーフェスよりも高い位置で、かつサーバー側のエンドラインの後方になければなりません。またこの間、サーバーまたはダブルスのパートナーの体の一部または着用しているものでボールをレシーバーから隠してはなりません。
- ⑤競技者の行うサービスが、正規条件に合致しているかどうか主審または副審に見えるようにすることは、競技者の責任です。
- ⑥サービスは、2 ポイント毎に交代します。但し、両競技者(組)のポイントスコアが 1 0 ポイントに達したときは、以後 1 ポイント毎に交代します。

▽打球

- ・打球は、ラケットハンドに握られたラケットの正規ラバー面あるいは手首から先で打たれた場合は、有効とします。

▽促進ルール

- ①ゲーム開始後 8 分経過した場合、あるいはその以前に両競技者(組)から要請があった場合は、その時点から促進ルールが適用します。但し、8 分経過した時点で両競技者(組)のポイントスコア合計が 1 8 ポイントに達している場合は、そのゲームに対する促進ルールは、適用されません。
- ②いったん促進ルールが適用されると、その試合が終了するまで促進ルールが適用されます。
- ③促進ルールが適用されると、1 ポイント毎に交代してサービスを行わなければなりません。
- ④通常のポイント決定方法に加え、レシーバー側が 1 3 回正規のリターンに成功した場合、レシーバー側の得点となる。

2. ボール、ラバー、ラケットについて

- ①ボールは、(公財)日本卓球協会公認のラージボールを使用します。
- ②ラケット本体には、J T T A と公認メーカーの刻印(表示・マーク)がなければなりません。
- ③ラバーは、I T T F、J T T A 公認の表ソフトラバーのみが使用できます。粒高ラバーは、使用できません。
- ④ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを張ることはできません。
- ⑤外国製ラケットで、J T T A の刻印のないものを使用する場合は、あらかじめ試合前に審判長の許可を受けて下さい。

3. 接着剤について

- ①ラバーを貼る接着剤は、J T T A 公認の揮発性有機溶剤を含んでいないものを使用して下さい。
- ②大会期間中は「E N E Z」ラケット検査機を用いたラケット検査を無作為(ランダム)に行う場合があります。

4. 競技服装について

- ①J T T A 公認ワッペンを着いているもののみ着用できます。J T T A ワッペンのないものは使用できません。
- ②ダブルスペアの服装の組合せは任意とします。

5. バッドマナー、競技者へのアドバイスについて

- ①競技者またはアドバイザーの行為で、相手競技者に対して不当な影響を与え観客に不快感を与え、またはゲームの評判を落とすような癖や態度は、バッドマナーとしてペナルティの対象となります。
- ②ゲーム中の競技者へのアドバイス及びジェスチャーによる助言は、一切禁止されています。
- ③競技者は、各ゲーム間の休憩中アドバイスを受けられますが、試合直前の練習後にはアドバイスを受けられません。

6. 選手の呼び出しについて

- ・選手は、原則として試合予定時刻の 1 0 分前に所定のコート付近で待機して下さい。

7. その他

- ①ルールに定めのない事項については、審判長あるいは競技委員長が日本卓球ルールを参考に判断します。
- ②試合進行上、試合コート、競技開始時刻を変更する場合があります。